

県職員作3体キャラ

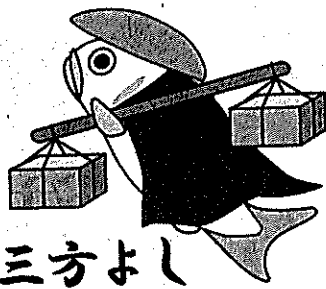
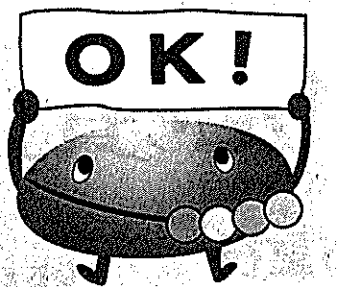
LINEスタンプに

県職員がデザインし、これまではひっそりと、資料の片隅に埋もれてきた3体のキャラクターが、無料通話アプリ「LINE(ライン)」のスタンプになり、活躍の幅を広げようとしている。売り上げは、琵琶湖を守る活動に寄付される仕組みで、県担当者は「名乗っても誰も知らないキャラだが、琵琶湖への思いは誰にも負けない」と、購入、利用を呼び掛けている。

(井本拓志)

3体は、二〇一三年 者などをつくる任意団の片隅で、にぎやかし 察しようと、LINEに誕生した県流域治水 体「マザーレイクフォ 役に徹してきた。スタンプの販売に着目。下水道課やフォ

政策室の「ちっすい〜ラム」のキャラで、 県流域治水政策室で ラム側と話し合い、昨 九年に生まれた「げっ ぐむ」。いづれも県職員 全などに関わり、資金 秋から本格的に3体の スタンプ化に取り組ん だ。予算はなく、各職 員が仕事の空き時間を 使ってポーズやせりふ の違つ計四十個のスタ ンプを描き上げた。



三方よし

①ちっすい〜のスタンプの一例
②げっぐむのスタンプの一例
③あゆむのスタンプの一例

「OK」とカードを掲げるちっすい〜くんや、「レンチー」と焦るげっぐむーなど使いやすそうなものから、単なるふなずしの絵や、「びわ湖なう」

活躍拡大 琵琶湖守る活動資金へ

と、使いたいものに迷いそうなスタンプも。げっぐむーが「行ってきま〜す」と便器から手を振るなど、クスッと笑えるものもある。

フォーラムが販売主体となり、売り上げを活動資金にする。フォーラムでは年に一度、琵琶湖での暮らしや保全を考える「びわ湖三会議」を開催しており、今後はさらにセミナーを開くなど活動を広げたい考えという。

県流域治水政策室の伊達哲副主幹は、「名も知らぬキャラクターでも、創意工夫で資金調達の一つの方法になることを伝えたい」と話す。スタンプは「日本一のびわ湖を守る」当地キャラ大集合で、検察。四十個セットで百二十円。同室 077(528)4291

繊細な描線 名刺作り

東近江 12人、ガリ版アート体験



ガリ、ガリという音を響かせながら鉄筆で名刺のデザイン。参加者一東近江市のガリ版伝承館で

かつてガリ版の呼び名で親しまれた簡易印刷術「謄写版」のアート講座が二十二日、発祥の地東近江市のガリ版伝承館であり、県内外の十二人がおしゃべりな名刺作りを挑んだ。京都市のガリ版アーティスト水口菜津子さん(左)が、下絵から製版、印刷まで指導。参加者は鉄筆を使った繊細な描線で名前やイラストを原紙に刻み、ガリという小気良い音を響かせた。大学院でガリ版の研究と創作をしている都市の新免泉さん(右)は「電力を使わず最も最小限だが、表現も多彩」と魅力を話した。

ガリ版は、地元中の近江商人堀井新造父子が一八九四(明治二十七年)年に発明。

おやすらかに

- 湖東
 - ◇彦根市
 - 山下 勇さん(やました・いさむ) 22日死去。
 - ◇近江八幡市
 - 酒井 寿三栄さん(さかい・すみ) 20日死去、81歳。自宅は近江八幡市鷹飼町。葬儀は21日営まれまし。
 - た。喪主はいとこ三橋良一(みつは)。
 - 11時30分から同市宮司本庄舞儀ホール想月で陽(あき)さん。遺母で努力家でした。
- 湖南

大津市苗鹿の下水処理場「湖西浄化センター」内にあるバラ



出た汚泥を確か確認